

# 平成29年度決算 袋井市の財務諸表

(統一的な基準)

市の財政状況について、発生主義会計の考え方を取り入れた財務諸表を作成しました。  
「どのくらいの資産があるのか?」「行政サービスはどのくらいコストがかかっているのか?」といったことが見えてくるため、決算書(単年度主義会計)と合わせて活用することでより多くの視点で財政状況を把握することができます。

平成31年3月  
企画財政部財政課

## ①貸借対照表

市が保有する公共施設やインフラなどの「資産」に対して、地方債などの将来返済しなければならない「負債」や、返済を要しない「純資産」などの状況を総括的に表したものです。

～傾向～  
純資産が資産に占める割合(純資産比率)は、一般会計等で81.4%、全体会計で73.3%、連結会計で70.0%となり、一般会計等に比べ連結会計は純資産の割合が低くなっています。  
これは、公共下水道特別会計や中東遠総合医療センターなどで純資産比率が低いからです。

(単位:百万円)

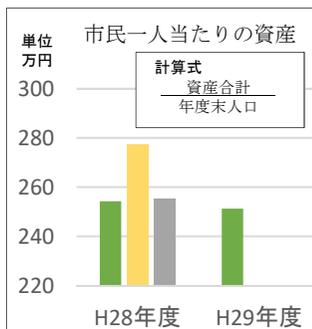
資産の部				負債の部			
会計区分	一般会計等	全体会計	連結会計	会計区分	一般会計等	全体会計	連結会計
固定資産	169,993	195,699	210,385	固定負債	28,369	48,446	58,985
有形固定資産	164,771	188,730	203,191	流動負債	4,123	5,667	7,315
無形固定資産	232	258	268	負債合計	32,493	54,113	66,300
投資その他の資産	4,990	6,711	6,926	純資産の部			
流動資産	4,465	6,969	10,506	純資産合計	141,965	148,554	154,591
うち現金預金	1,917	4,002	5,053	純資産比率	81.4%	73.3%	70.0%
資産合計	174,458	202,667	220,891	負債及び純資産合計	174,458	202,667	220,891

## 指標分析

財務諸表の数値を用いた様々な指標を会計間や年度間、さらには、他市と比較することで相対的に財政状況を見ることができます。

### ～市民一人当たりの資産～

本市の資産を、市民一人当たり分配到るといくらになるかを示すものです。



～傾向～

平成29年度は、資産の減価償却額が新規資産取得額を上回ったため若干減少しました。  
資産が大きいのということは、更新経費も必要になることに注意する必要があります。

連結会計	H28年度	H29年度
袋井市	254.3	251.2
近隣市	277.6	※
類似団体	255.3	※

※未完成のため集計不可

## 財務諸表の会計範囲

会計範囲	対象とする会計
一般会計等	一般会計 墓地事業特別会計
	国民健康保険特別会計 介護保険特別会計 公共下水道特別会計 駐車場事業特別会計 など
公共事業会計	水道事業会計 病院事業会計
	袋井市森町広域行政組合 中遠広域事務組合 静岡地方税滞納整理機構 掛川市・袋井市病院企業団 など
公営企業会計	袋井市森町広域行政組合 中遠広域事務組合 静岡地方税滞納整理機構 掛川市・袋井市病院企業団 など
	袋井地域土地開発公社 社会福祉法人 袋井市社会福祉協議会
一部事務組合等	
地方公社等	

## ②行政コスト計算書

一年間の行政サービス(資産形成に係るものを除く)に要した費用(人件費や減価償却費なども含むコスト)と、収益を表したものです。

～傾向～  
経常費用に対する経常収益(使用料・手数料や諸収入など)の割合は、一般会計等が4.2%、全体会計が9.7%、連結会計が19.7%となります。水道や病院事業などの経常収益が多いため、全体会計や連結会計で割合が大きくなります。

(単位:百万円)

会計区分	一般会計等	全体会計	連結会計
経常費用	30,443	46,385	59,494
業務費用	16,241	19,389	29,581
人にかかるコスト	4,786	5,173	9,659
物にかかるコスト	11,182	13,465	18,905
その他のコスト	273	752	1,017
移転費用	14,203	26,996	29,913
経常収益	1,290	4,492	11,709
臨時コスト	3	△3	△8
純行政コスト	29,156	41,890	47,776

## ③純資産変動計算書

一年間の「純資産」の変動について、どのような財源や要因で増減したかを表すものです。

～傾向～

どの会計区分でも純資産が減少していますが、公共下水道事業会計や水道事業会計、袋井市森町広域行政組合などでは、黒字経営などにより純資産が増加しているため、全体会計や連結会計では減少幅が小さくなっています。

(単位:百万円)

会計区分	一般会計等	全体会計	連結会計
前年度末純資産残高	143,954	149,464	155,498
純行政コスト	△29,156	△41,890	△47,776
財源	27,114	40,927	46,861
税收等	20,704	30,279	33,200
国県等補助金	6,409	10,648	13,660
資産評価差額等	53	53	9
本年度純資産変動額	△1,989	△910	△907
本年度末純資産残高	141,965	148,554	154,591

## ④資金収支計算書

一年間の現金等の資金の流れを、性質の異なる三つの活動に分けて表したもので、市がどのような活動にお金を必要としているかを示すものです。

～傾向～

業務活動収支と投資活動収支の合計(注1)は基礎的財政収支と呼ばれ、プラスであれば行政サービスを借金に頼らないで実施できていることを示します。本年度は全体会計と連結会計がプラスとなりました。

(単位:百万円)

会計区分	一般会計等	全体会計	連結会計
業務活動収支	2,412	4,265	5,555
基礎的財政収支	△581	316	1,733
投資活動収支	△2,759	△4,318	△4,320
財務活動収支	711	431	△922
本年度資金収支額	364	378	313
前年度末資金残高	909	2,980	4,093
本年度末資金残高	1,274	3,358	4,407
本年度末歳計外現金残高	643	644	647
本年度末現金預金残高	1,917	4,002	5,053

※全ての表において、単位以下の数値を四捨五入しているため、合計と一致しない場合があります。

注1: 支払利息支出、基金積立金支出及び基金取崩収入を除く

# 指標から分かる袋井市の財政

■ 袋井市 ■ 近隣市 ■ 類似団体

※近隣市は、湖西市、磐田市、掛川市、菊川市、袋井市の平均値  
 ※類似団体は、湖西市、島田市、裾野市、御殿場市、袋井市の平均値

統一的な基準に基づく財務諸表は、平成28年度決算分から全国の地方自治体で作成されるようになりました。  
 指標は代表的なものを掲載しています。



## 健全性

### ～市民一人当たりの負債～

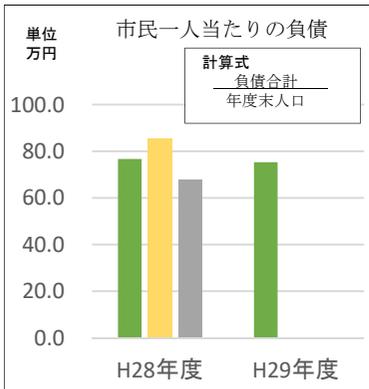
本市の負債を市民一人に分配するといくらになるかを示すものです。

#### ★傾向

市民一人あたりの負債は、主に地方債残高などが減少したため、前年度に比べて減少しましたが、類似団体より高くなっています。  
 今後もプライマリーバランスを考慮した計画的な起債を行うことが必要です。

参考：静岡県 102万円  
 国 859万円

連結会計	H28年度	H29年度
袋井市	76.7	75.3
近隣市	85.7	※
類似団体	67.7	※



## 公平性

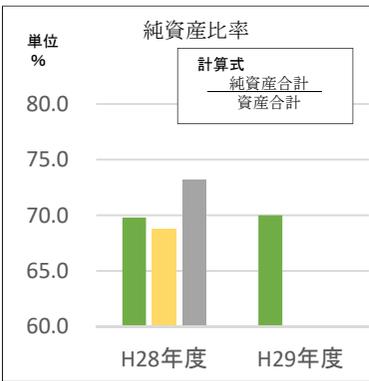
### ～純資産比率～

資産のうち、借金の返済を必要としない資産がどの程度の割合かを示します。現在持っている資産がこれまでの世代による負担なのか、あるいは、将来世代への負担となっていくのかを示すものです。

#### ★傾向

純資産比率は毎年70%前後で推移しており、これまでの世代の負担の割合が大きいことが分かります。  
 他市も同程度の割合となっています。

連結会計	H28年度	H29年度
袋井市	69.8	70.0
近隣市	68.8	※
類似団体	73.2	※



## 将来性

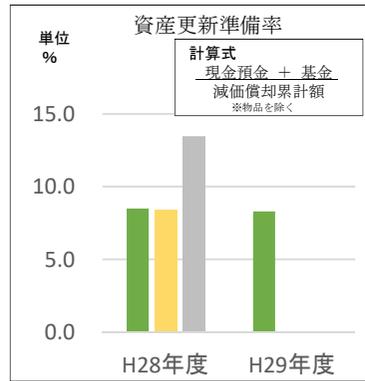
### ～資産更新準備率～

公共施設など、現在の有形固定資産の更新にあたり、同程度の施設を整備する場合に、どの程度の資金の蓄えがあるかを表し、数値が大きいほど、将来に備えた資産の更新準備ができています。

#### ★傾向

平成29年度に数値が低くなったのは、現金預金及び基金の増加よりも、施設の老朽化が進み減価償却累計額の増加が上回ったためです。  
 類似団体よりも数値が低いので、将来に備え、今後はより一層の資金準備をする必要があります。

連結会計	H28年度	H29年度
袋井市	8.5	8.3
近隣市	8.4	※
類似団体	13.4	※



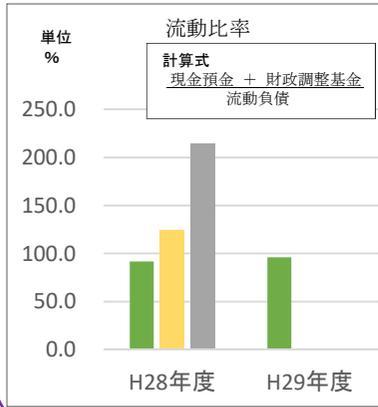
### ～流動比率～

今後1年間における現金の支払予定額に対して、どの程度資金の準備がされているかを表します。100%を下回れば、支払額に充てる資金が少ないことを示すものです。

#### ★傾向

平成29年度は、現金預金の増加などにより前年度より4.4ポイント改善していますが、近隣市などに比べ低いことから、地方債残高の抑制や、現金預金や財政調整基金の充実により、流動比率を高めることが必要です。

連結会計	H28年度	H29年度
袋井市	91.9	96.3
近隣市	123.8	※
類似団体	214.1	※



## 効率性

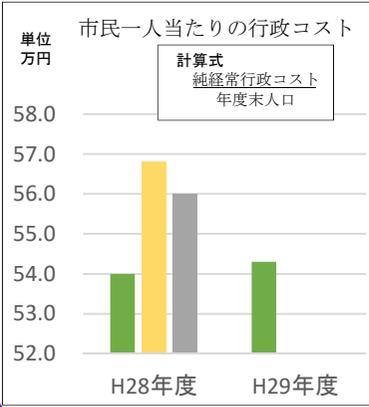
### ～市民一人当たりの行政コスト～

市民一人当たりの行政サービスを示すものです。

#### ★傾向

近隣市や類似団体に比べ、低いコストで行政サービスを提供しています。  
 行政サービスの内容については、それぞれの自治体で異なるため、需要に対して十分な行政サービスが提供できているかは個々の事業で検証が必要です。

連結会計	H28年度	H29年度
袋井市	54.0	54.3
近隣市	56.8	※
類似団体	56.0	※



### ～有形固定資産 減価償却率～

有形固定資産のうち、土地以外の償却資産の取得価格に対する減価償却累計額の割合です。償却資産が耐用年数と比較してどの程度経過しているのかを示すものです。100%に近いほど老朽化が進んでいると言えます。

#### ★傾向

資産の有形固定資産減価償却率は前年度に比べ1.5ポイント上昇していますが、近隣市・類似団体と比較して低くなっています。  
 施設の長寿命化や資産を更新する際の施設規模の見直しや、資金の確保が今後の課題となります。

連結会計	H28年度	H29年度
袋井市	47.7	49.2
近隣市	53.0	※
類似団体	51.0	※

